

(第三種郵便物認可)

秋葉原ラジオストアアー創業60周年

係は現在も続いているとい
う。
各店、別会社を設立

昨年3月に、秋葉原ラジ
オストアアーの9代目社長に
就任した竹村元秀社長は
「創立60周年記念パーティ

東京・秋葉原の電子部品
の小売店舗9社で構成され
る「秋葉原ラジオストア

その後、GHQのマツカ
シオー台を完全に組み立て
る「サー」による露天撤廃令に
基づき、それまで個々に営
業していた10店の露天商が
一つの企業となり、50年3
月に秋葉原ラジオストアアー
（株式会社）が創立され

その後、時代の変遷と
もに、取り扱い商品もラジ
オ部品からオーディオ、ア
品流通およびメーカーの大
手・中堅としてエレクトロ

同時に需要拡大に合わせ
て、各店舗は商社として、
または部品メーカーとして
別会社を続々と設立し、そ
れぞれが現在では、電子部

では、これまでお世話にな
ってきた業界関係者や地域
の人たちなどに対して感謝
の気持ちを表したい」、さ
らに「最近の秋葉原は、再
開発で電機以外の業種の進
出も増え、集客増につなが
っているが、やはり我々と
しては『電機の秋葉原』の
伝統を残していきたい。家
電関係は淘汰が進み、難し
い状況だが、部品だけでも
今後も元気な姿を見せてい
けるよう頑張っていきた
い」と話す。

1」（東京都千代田区外神
田、竹村元秀社長）がこの
ほど、1950年（昭和25
年）の創業から60周年を迎
えた。

創業時のテナント10店舗中9店舗が「現役」

「電機の秋葉原」伝統引継ぐ

秋葉原ラジオストアアーの
ルーツは、第2次世界大戦
後、間もない時期に焼け野
原となった秋葉原地区で、
進駐軍のラジオ部品の卸を
始めた須田町界隈の露天商
にさかのぼる。

た。

ラジオ全盛の時代だった
当時、秋葉原ラジオストア
アーは、1店舗目から10店舗
目までを通り抜ければ、工
具からトランス、つまみ、
ポリウム、抵抗、コンデ
ンサ、スイッチ、コネク
タ、線材、ねじ、ボルト、
さらにスピーカから真空
管、トランススタまで、ラ

品と目まぐるしく変化した
が、現在も創業時のテナン
ト10店舗中9店舗が営業を
続けている。

現在のビルは、75年に完
成したもの。ストアアーの創
業から60年が経過して、現
在では露天商時代の創業者
からは2代目、3代目に移
行しているが、創業当時か
らの各店舗同士の密接な関
開催される。

現在の秋葉原ラジオスト
アーのテナントは、次の9
店舗。▽さいとう▽トヨデ
ン▽マルモパーティ▽パーツ
ランド▽シアール▽福永
電業▽ストア・ミズタニ▽
コイズミ無線▽タカヒロ電
子。



竹村 社長

管、トランススタまで、ラ

ら各店舗同士の密接な関

開催される。

子。